

第29回全日本シニアソフトボール大会出場

第28回全国健康福祉祭やまぐち大会ソフトボール大会出場 **長洲シニア**



高校球児たちの誰もが夢見る大舞台、甲子園。頂点を目指し、全力でぶつかりあった熱い闘いは、東海大相模高校の優勝で幕を閉じた。球児たちが全国制覇を掲げる中、若者に負けじと全国優勝を目指すチームがあった。

北原貢二監督率いるソフトボールクラブ『長洲シニア』は平成21年8月に結成され、チーム数は現在33人。ほとんどが町内者と、地元を中心にしたチームだ。

5月13日、14日に熊本市県民総合運動公園で行われた「第27回熊本県シルバースポーツ交流大会ソフトボール大会（熊本県大会）」に出場し優勝。また、7月11日から熊本市植木総合スポーツセンター、田原スポーツ公園で行われた「第29回全日本シニアソフトボール大会熊本県予選会」も優勝。見事、2つの全国大会への出場権を手にした。今回が初の全国大会出場となる。

全日本シニアソフトボール大会熊本県予選会では、決勝戦、K・Sクラブ、全国大会常連のチームとの決戦。そのチームの投手からは今まで1点も取ったことはなく、一度も勝ち星を上げたことが

なかった。

「今回こそは絶対に勝つ！」という意気込みで、長洲シニア一丸となって全力でぶつかりました」とコーチの木下勝さん。結果、3対1で勝利。全国大会への出場権を手にした。

「私たちのチームは、地元中心のメンバーで頑張っています。地元中心のメンバーだからこそその連携の強さというのが、我々の強みですね。また、私達を理解し、協力してくれる家族がいることも、強さの一つであると感じています」と監督の北原さん。練習や試合では、感謝の気持ちを忘れず、緊張感を持ちながらも、皆が楽しみながらプレーしているという。

第29回全日本シニアソフトボール大会は9月26日から北九州市ひびきコスモス運動場で、第28回全国健康福祉祭やまぐち大会ソフトボール大会は10月17日から山口県で行われる。

「持ち前のチームワークの強さで、目指すは全国制覇！」と闘志を燃やすキャプテンの高野稔さん。彼らの持つ長洲シニア魂は、全国大会の地に長洲旋風を巻き起こす。